

令和2年5月20日  
(公財)日本少年野球連盟  
企画運営部 部長大冨 肇

## 各種大会開催(練習試合)運営に関するガイドライン

### (新型コロナウイルス感染拡大防止対策)

連盟主催大会、地区大会及び練習試合を行うにあたり 以下の事項 対策を講じる事を運営の基本とし、連盟通達及び各地域の状況、各会場、球場の対策方針に従い行うこととする。

尚 大会運営役員、審判、参加チームスタッフ、選手、保護者の全ての者に於いて当日の検温(37.5 度以下)並び体調に異常が無いか確認をし 各自出来る限り 2m以上の距離を取り マスクを着用し 密集しないようにする。

1. 大会開会式、閉会式を禁止とする。表彰式は最低限の人数、時間で簡素に行う。
  2. (1)大会運営方法
    - 運営(球場)責任者、及び運営役員 3名  
放送1~2名 記録1名 グランド整備等運営補助者 5名程度  
室内本部は必要最低限の者とし、屋外(スタンド)とする。
    - 試合間隔は試合時間含め3時間を取り 密にならないよう運営する。
    - 試合ベンチはグラウンド内にもスペースを広げ、防球ネット等で安全対策を行い 密度が高くなるように設営する。
    - チーム到着時、帰途時の挨拶は「無し」とし メンバー表等の提出のみとする。
    - 試合前審査は審査証確認及び道具審査のみとし 代表のみが立ち会う。  
また試合前のメンバー表交換の集合は 球場責任者、審判、監督、主将で行う。
    - 接待は「無し」とし 飲料(個別ペットボトル)、弁当等は1ヶ所に準備し 各自で取りに行くこととする。
    - 本部席、ベンチ、トイレに消毒液、または手洗い用ハンドソープを設置し、  
試合終了後、ベンチを消毒する。
    - 試合会場入りは1時間前とし、試合終了後は速やかに会場より退出とする。
- \*大会主催者は検温計、ハンドソープ、消毒液、ダスタークロス等の準備をする。

## (2) 試合に関して

- 打席、守備につくとき以外はベンチ内に於いてはマスク着用とする。
  - 指示、掛け声は飛沫が飛ばないように大声を出さず行う、またメガホンは禁止とする
  - 試合開始、終了の挨拶は声を出さず 礼のみで行う。
  - 捕手は防具を自ら着用し 補助者を使わない。
  - 審判はマスク着用し 判定コールは大声を出さずジェスチャーを大きく行ってジャッジングをする。
- \* マスクの着用は熱中症等のリスクが高くなる為 時間を取るなど配慮する。

## (3) 参加チームについて

- 会場入り可能チーム構成、人数はベンチ入りの代表、監督、コーチ、マネージャー、選手 20(25)名以内及び 保護者の応援はマスク着用し 観客席にて2m以上の間隔を取り 声を出さず見学のみとする。
  - チームの飲料等は個人水筒、専用ペットボトルで行いチームのジャグ等 禁止とする。またチーム役員、監督等の接待も禁止とする。
  - 昼食を取る場合 対面にならないよう2m以上の間隔を取り 会話せず 最低限の時間で済ませる。また他チームとの必要外の接触は避ける。
  - 大会会場へは1時間前以上早く入らない。また試合終了後は速やかに 帰途に着くこと。
  - 選手移動については全ての車両に於いて こまめな換気を行い 密閉、密集、密接にならないよう注意する。
  - 宿泊に於いては一人一部屋、室内でのミーティングをしない。  
食事の時は対面、密集にならないよう会話せず済ませる。
- \* 大会(試合)に参加するにあたり、チームの基本的な対策及びハンドソープ、消毒液など備品は自チームで行い、選手、スタッフ、保護者の管理は チームで責任をもって行うこととする。

以上 大会のガイドラインであります。感染のリスクがゼロではありません。

各チーム 参加選手、保護者にはよく説明を行い 同意、承諾の中で 参加、活動のお願いいたします。

\* チームからの参加及び活動の強制は禁止致します。

尚、大会開催中に於いても感染状況が悪化及び行政の指導が出た場合 大会及び試合を打ち切る場合があります。